

## キャンパス植物のご紹介

2020.4.22



**ローズマリー** *Rosmarinus officinalis* (ロスマリヌス オフイナリス) シソ科の常緑低木。属名のロスマリヌスは海のしずくという意味があります。地中海原産で淡路島の気候にはよく合っています。写真は風の庭の中腹にあり、枝が立ち上がった立性の花付きの良い品種です。すぐそばには下の写真の

ような枝が曲がった這性の品種もあります。場面に応じて使い分けできます。基本は淡い青紫の花ですが、白やピンクの品種もあります。

花の形は元で合着する筒状ですが、先は裂片に分かれ、特に上下の裂片を唇に見立て、唇形花と呼ばれ、シソ科植物の特徴でもあります。

ハーブの代表的な種類で、葉を少しちぎって香りを嗅いでみてください。

料理、ポプリ、観賞、アロマ、薬用と、幅広く楽しめる植物です。



### **ラミウム** *Lamium maculatum* (ラミウム マクラツム) シソ科

春の雑草のヒメオドリコソウ(下写真左)やホトケノザ(下写真右)と同じオドリコソウ属の植物です。シルバーリーフが美しい写真の品種は‘ビーコンシルバー’と呼ばれるものです。花はこの時期だけですが、葉は年中美しく、寄せ植えやハンギングバスケットなどにも使用されます。葉の模様が違うタイプ、葉が黄色かかった品種などあります。花は基本は写真のピンクですが、白や淡いピンクもあります。20cm程度の横に這う植物です。高温多湿にやや弱く、西日本では半日陰の場所の方がきれいに育ちます。

右の黄色い花の写真は、**ラミウム ガレオブドロン** *Lamium galeobdolon* でキバナオドリコソウとも呼ばれます。



こちらはもう少し大型で、つる性で良く広がります。葉の斑は美しく、フラワーアレンジなどでも重宝します。ラミウムは常緑宿根草で、シソ科植物に特徴の四角い茎を持っています。



### **ムサシアブミ** *Arisaema ringens* (アリサエマ リンゲンス) サトイモ科

握りこぶしのような奇妙な花ですが、筒状の中に棒状のものがあり、そこにたくさん小さな花をつけており、サトイモ科の特徴です。外側の部分は仏炎苞といいます。切り花で人気のカラーやミズバショウなども同じつくりです。

テンナンショウ属の植物は温帯の森林に分布し、日本にも数種類の原種が見られます。地味ですが仏炎苞の形が面白く、山野草として人気があります。

雌雄異株で、同じ株が栄養状態で性転換することも知られています。

全草毒があり、薬用としても利用されますが、素人では扱ってはいけません。



**ラベンダー類** 常緑低木 シソ科

北海道や南仏で有名なラベンダーですが、種類はいろいろあります。香水や精油にする香り高いのは北海道などで見られるイングリッシュラベンダー *Lavandula angustifolia* ですが、高温多湿に弱く、淡路島のような暖地ではうまく育ちません。

キャンパスにあるのは①**フレンチラベンダー** *Lavandula stoechas*(ラバンデュラ ストエカス)と②**フリンジラベンダー(ラベンダー デンタータ)**

*Lavandula dentata* です。①はパイナップルのような花序の先にウサギの耳のような苞葉がつくかわいらしい姿です。香りは薄く、観賞用やドライフラワーに利用します。②葉にギザギザの切れ込みがあり花穂の先にフリンジのような苞葉があります。学名のデンタータは歯のようなという意味で、葉の形を表しています。

暖地性のラベンダーでも蒸れには弱く、水はけや風通しが良いところを選びます。

現在キャンパスには植えていませんが、ラバンジン系といわれるラベンダーは香り高いイングリッシュラベンダーと暑さに強いスパイクラベンダーの交配種で、暖地でも栽培可能で、精油なども取れます。



**セイヨウシャクナゲ** *Rhododendron hybridum*(ロドデンドロン ヒブリズム) ツツジ科

中国や日本のシャクナゲを欧米で交配して作った品種群ですが、もちろん日本でも新しい品種は作られています。

花木の女王ともいわれるほど美しい花をつけます。色は豊富で、赤、ピンク、白、黄色、紫などあります。キャンパスのあちらこちらに見られ、数品種ありますが品種名がよくわかっていません。この写真は関係者駐車場に入る所にあります。ロドデンドロンはツツジ属ですが、シャクナゲはツツジ類とは花の付き方が球状になり趣が違います。常緑木本です。



**ノースポール** *Leicanthemum paludosum*(レウカンセマム パルドスム) キク科

春の花壇の定番一年草です。マーガレットに似たシンプルな花です。ノースポールという名前は、これを作出したサカタのタネの品種名ですが、これがそのまま植物の一般名として定着したものです。今年、キャンパスに植えている品種はサカタのノースポールよりやや花が大きい‘スノーランド’という品種です。旧学名のクリサンセマム・パルドサムと呼ばれることもあります。

# 見られる場所マップ

2020. 4. 22

- ・示した場所以外にもあちらこちらに見られる種類もあります。
- ・気温が上がると一気に花が進んで終わってしまう場合もあります。
- ・開花が進んでいる種もありますので見たい方はお早めに。
- ・緑色の印はセイヨウシャクナゲです。

